

監査報告書

令和4年5月27日

社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
会長 福住隆敏様

社会福祉法人大洲市社会福祉協議会

監事 土居敏 

監事 藤原貴 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 実施日時

令和4年5月27日

2 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

3 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ・事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 経営に関する監査結果

- ・訪問介護事業所については、介護保険事業の状況によるところもあるが、大洲市における特性として人口減少や山間地域も多く広域であることなど移動に係る時間がかさむことは理解できます。訪問介護事業は、地域で生活をされる高齢者・障がい者にとって必要不可欠なサービスであるため、今後もサービスの維持ができるように引き続き経営改善に努めてください。